

ビジョン 9 誰もがその人らしく生きる、 分かりあえる共生社会の実現

- 男女共同参画・障害者・LGBT・外国人なども包含した(仮称)ハーモニー条例を制定し、共生社会を千葉県から実現します

ビジョン 10 「千葉県を経営する」広域行政体と 呼ぶにふさわしい仕事を

- 千葉市を変革したように、県の行財政改革・デジタル化に取り組み、県民サービスの向上とコスト削減を実現します
- 水道事業の統合・広域化等を進め、市町村の負担を軽減します

ビジョン 11 県と政令市の理想的関係を構築し、 千葉県の総力を高める

- 大阪以外で初の政令市出身として、県と政令市の理想的関係を実現します
- 県が1機も保有していない消防ヘリの共同運用など、千葉市民はもとより県民にその恩恵を還元します

実績
県内で初めて
**パートナーシップ
制度を導入**

実績
政令市ワースト1位の
**財政状況を
大きく改善**

10市の上下水道
料金の
徴収一元化をリード



これまでの
あゆみ

千葉市長の
実績

県政
ビジョン

力を貸して
ください!

くまがいの
日常

つながろう
SNS

お友達登録を
お願いします。

**県とほぼ同じ権限を有する政令市を
11年経営し、多くの分野で成果を
上げてきた経験を活かして県政の
課題解決に取り組み、結果を出します**

公式ホームページ
<https://www.kumagai-chiba.jp>

詳しくはこちら

後援会入会のご案内

1 「くまがい俊人後援会」へ入会のお願い

くまがい俊人の理念や政治活動にご賛同いただける方の後援会への入会をお願いします。

2 くまがい俊人への「ご寄付」のお願い

くまがい俊人の政治活動を支えていただくために、多くの皆様から無理のない個人献金を募っております。個人献金は、政治資金規正法に則ってお受けしております。

ご協力をお願いします

○ くまがい俊人を応援します。 ○ 寄付ができます。
○ ポスターを貼る場所があります。 ○ 人を集められます。
○ ボランティアができます。(ピラ配り・電話かけなど)

「くまがい俊人後援会」とは

- くまがい俊人の政治活動に賛同し、その活動を支援するための団体です。
- くまがい俊人の政治活動をご支援していただける方であればなたでも入会できます。
- 会費は年間2,000円です。
- 会員相互の交流をはじめ、後援会主催のイベントを行ってまいります。
- 後援会活動
 - ・会報発行(年2~3回)
 - ・講演会開催・スポーツ観戦
 - ・視察旅行・新年会 他

くまがい俊人へ「ご寄付」のお願い

- 個人献金の年間限度額は、お一人150万円迄です。
- 外国人(日本国籍を有していない方)、他人名義、匿名による寄付をすることはできません。
- 年間5万円を超える寄付は、選挙管理委員会宛の収支報告書に氏名、住所、職業、金額、寄付年月日が記載されます。
- 2万円を超えた寄付をされた方は、確定申告の際に所得控除の対象となりますので、申告される方は寄附金控除書類をくまがい俊人後援会事務局までご請求下さい。

◆お申し込み・お問い合わせ先◆

くまがい俊人後援会事務局

県民の命とくらしを守る

～経験、実行力、県民の英知で千葉県を変える～

くまがい



mail: info@kumagai-chiba.com
Web: https://www.kumagai-chiba.jp

俊人としひと

後援会報 No.17

発行元
熊谷俊人後援会 **冬号**

31歳で千葉市長に選んで頂き、県とほぼ同じ権限を持つ千葉市で11年間、職員とともに市政改革に取り組み、政令市ワースト1位だった財政を立て直し、昨年の災害対応や新型コロナウイルス対応においても、先手を打って千葉市独自のスピード感ある対応を行ってきました。

市民の後押しを受け、多くの成果を上げてきた一方で、県政は今、多くの課題を抱えており、一人の県民として見過ごすことはできません。

積み重ねてきた行政経験と危機管理能力、確かなビジョン、若さと行動力で、「コロナ禍で苦しむ市民・中小事業者を支えるための県独自の対策」「被災した住民・地域の1日も早い復旧復興、災害に強い千葉県づくり」「医療や介護の充実、子育て支援や児童虐待対策」「人口減少に苦しむ外房・南房総の活性化」など県政の課題に最前線で取り組んでまいります。

私はこれまで300回以上の市民対話を行い、現場視察を重ね、対話と現場主義を重んじてきました。千葉県のあらゆる場所を訪れ、多くの方々の思いを集め、つないでいきます。

あなたの県政に対する要望・意見などを私にお寄せください。

ともに千葉の未来を作っていきましょう。

熊谷俊人



くまがい俊人プロフィール

- ◆ 1978年2月18日生まれ 浦安市・神戸市などで少年時代を過ごす 高校2年の時、阪神淡路大震災で被災
 - ◆ 2001年3月 早稲田大学政治経済学部卒業 4月 NTTコミュニケーションズ株式会社入社
 - ◆ 2009年6月 千葉市長選挙に立候補し当選 当時全国最年少市長(31歳)政令市では歴代最年少
 - ◆ 2013年、2017年 歴代最多得票数を更新し現在3期目
- 【趣味】登山・詩吟・歴史 【家族】妻・子供2人(4人家族)

ビジョン 1 徹底した 現場主義と対話

- 県内各地に直接出向き、対話を通して県民・市町村に寄り添った県政を実現します
- 現場・若手職員とも積極的に交流し、チャレンジ精神ある職員を登用します

実績

- 対話会を300回以上開催、さらに「市長の出前講座」、「市長ランチミーティング」など、常に市民と対話
- 今まで市長が訪れたことのなかった施設も含め、積極的に視察、若手職員とのランチミーティングなどを通して、現場主義を徹底

